

第9回 長安ロダム改造事業費等監理委員会

第8回委員会での主な意見と取り組み

平成28年7月

那賀川河川事務所

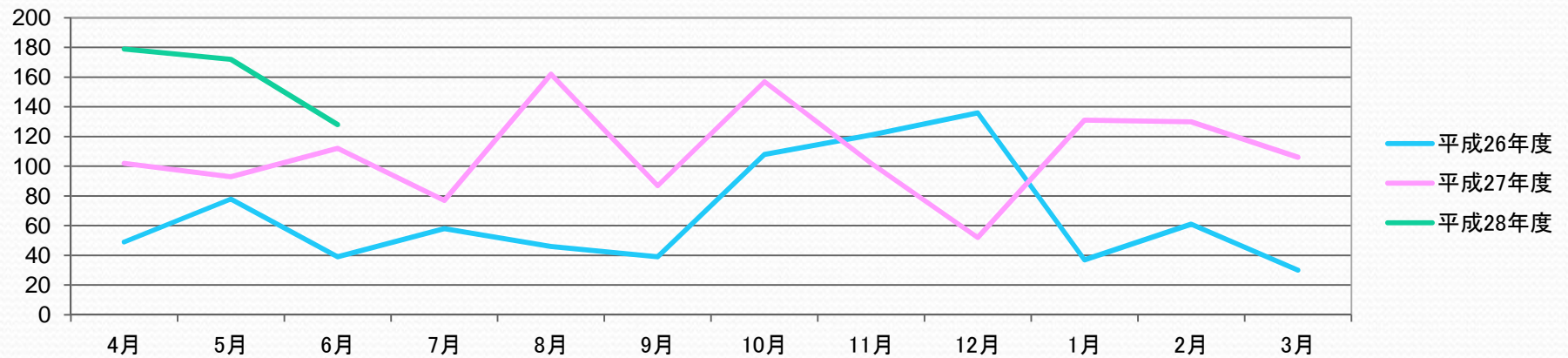
【第8回委員会（平成27年度）における主な意見と取り組み】

前回の委員会でいただいた以下の主な4つの意見に対する、当事務所の取り組みについてご紹介します。

- (1) 今後の工事費等においてもコスト縮減に努めるとともに、平成30年度末の治水・利水効果発現・平成31年度末の濁水対策効果発現に向け、着実な整備を進めること。
 - 新設ゲート改造工事関連工事は昨年度までに発注完了となり、本年度中に選択取水工事が契約されると改造工事の全工事が発注完了となる。
- (2) 事業費レビューにおけるコスト増につながる要因については、次年度以降分かりやすく説明できるよう工夫すること。
 - H27年度内の事業費に関する部分で説明
 - 資料3「事業費レビュー及びコスト縮減に対する対応状況」で説明
- (3) 今後も、広報を進めるにあたり、地域の財産につながるなど、数値的に示せない付加的なものにも留意して幅広い観点から進めていただきたい。
 - ①改造事業広報活動について
- (4) 長安口ダム堆砂対策について、本事業完了までに確実に有効貯水容量の確保を図るとともに、恒久的な堆砂対策を含めた対応策の検討を進めていただきたい。
 - ②貯水池機能保全技術会議について
 - ③那賀川総合土砂管理検討協議会について

①長安口ダム改造事業における広報の状況（平成26年4月～平成28年6月）

見学者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	49	78	39	58	46	39	108	121	136	37	61	30	802
平成27年度	102	93	112	77	162	87	157	102	52	131	130	106	1,311
平成28年度	179	172	128										



なかがわ探検バスツアー見学写真
(天端仮設構台)



那賀町子どもまつり
(天端仮設構台)



鳴門教育大学付属小学校
(長安口ダム会議室)

①長安ロダム改造事業における広報の状況

【新たな取り組み】

長安ロダム改造事業の広報の新たな取り組みとして、**長安ロダム施設改造広報資料**を作成。ダム工事現場見学者や通常のダム見学者に配布を行い、改造事業の広報を実施。

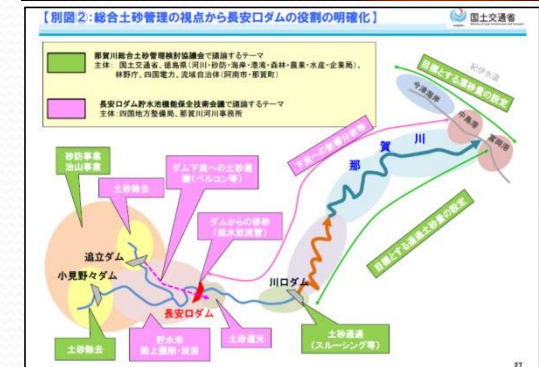
現場見学等には、HP上にある工事現場見学の受付案内を更新し、一般及び学校関係者等に広く周知するとともに、旅行業への広報として、世界に誇る土木技術が詰め込まれた改造事業工事を観光資源として活用してもらうよう**インフラツーリズム**にも対応。

また、土木工事専門誌からの執筆依頼による**招待記事**や、**土木工事専門技術者への講演**等を実施し広報の幅を広げる試みをおこなう。

長安ロダム施設改造広報資料の更新

工事現場見学の受付 (HP)
<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/spotguide/>

土砂研 技術講演会(2016)講演(東京)



②長安ロダム貯水池機能保全技術会議について

長安ロダム貯水池機能保全技術会議

第1回



第2回



第1回長安ロダム貯水池機能保全技術会議

日 時:平成27年11月11日(水) 9:30~11:30

場 所: アスティとくしま

(徳島県立産業観光交流センター)

議 事 内 容

- (1)長安ロダム堆砂の現状および課題について
- (2)第2回長安ロダム貯水池機能保全技術会議の予定について

第2回長安ロダム貯水池機能保全技術会議

日 時:平成28年3月9日(水) 9:30~11:30

場 所: アスティとくしま

(徳島県立産業観光交流センター)

議 事 内 容

- (1)長安ロダム貯水池機能保全対策レポート中間報告
- (2)長安ロダム堆砂の現状(モニタリング調査結果・まとめ)
- (3)今後の長安ロダム堆砂対策の最適案絞り込み及び実現性の検証
- (4)今後の長安ロダム堆砂対策の影響整理

設立趣旨・目的

那賀川において十分な経験を有する学識者と専門家により、貯水池機能保全対策を抽出し内容を検討するとともに、堆砂除去土砂の下流還元の影響等について技術的な見知から明らかにし、長安ロダムの安定的な保全対策をまとめる。

委員の意見

- ① 那賀川の土砂流入量は年変動が大きく、辛うじて堆砂容量を確保している状況であり、今後は堆砂対策の増強が必要である。堆砂対策案としては実現性、柔軟性の観点からベルトコンベア運搬による対策案が有効である。
- ② 堆砂対策による下流河川への影響については治水・河川利用・環境の影響検討を継続して実施する必要がある。

今後の検討について

下流河川への影響については、検討対象が広範囲及ぶため、総合土砂計画の検討の場へと引き継ぐ。総合土砂管理計画の中で、長安ロダムの堆砂対策をどのように位置付けるかを検討する必要がある。

【委員長】

徳島大学大学院 バイオテクノサイエンス研究部教授

武藤 裕則

【委員】

阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース 准教授

長田 健吾

国立研究開発法人土木研究所水環境研究グループ

河川生態チーム上席研究員 自然共生研究センター長

萱場 祐一

徳島大学大学院 バイオテクノサイエンス研究部准教授

河口 洋一

国立研究開発法人土木研究所水工研究グループ

水理チーム主任研究員

櫻井 寿之

国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部河川研究室 室長

服部 敦

四国大学学修支援センター助教

徳島大学大学院 バイオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部特別研究員

松田 春菜

阿南工業高等専門学校 名誉教授

湯城 豊勝

第2回 那賀川総合土砂管理検討協議会

平成28年 第2四半期 実施予定

那賀川総合土砂管理技術会議(仮称)

平成28年 第3四半期 実施予定



③那賀川総合土砂管理検討協議会について

那賀川総合土砂管理検討協議会



第2回 那賀川総合土砂管理検討協議会
平成28年 第2四半期 実施予定
今後、関係機関で目指すべき姿等の合意を図り、那賀川の総合土砂管理計画を策定していく。

第1回那賀川総合土砂管理検討協議会

日時:平成28年2月26日(金) 10:00~12:00
場所:徳島グランヴィリオホテル
議事内容

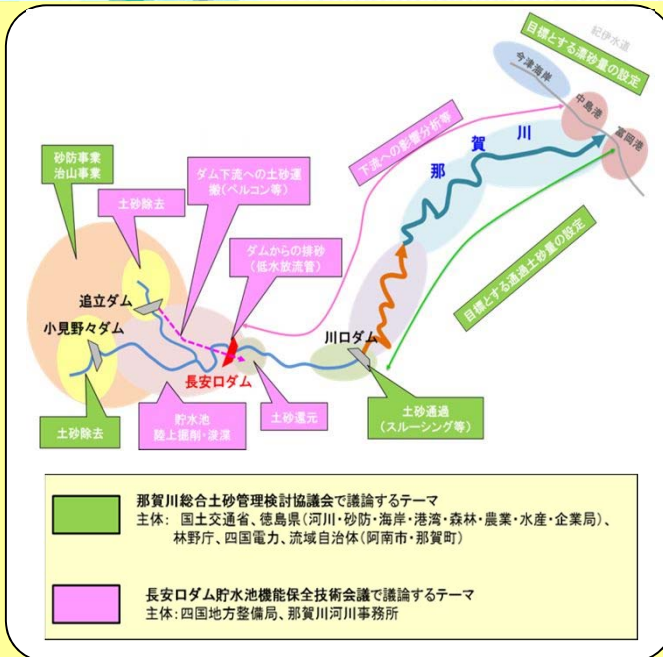
- (1)これまでの総合的な土砂管理の取り組み状況
- (2)那賀川流砂系の現状について
 - ① 那賀川流砂系の現状
 - ② 各領域における土砂に関する課題とその対策内容
 - ③ 流域関係者(関係団体)からの意見発表
- (3)那賀川流砂系における総合的な土砂管理の取り組み方針
- (4)関係機関の連携方針の確認
- (5)第2回那賀川総合土砂管理検討協議会の予定について

設立趣旨・目的

今後、那賀川流砂系における土砂動態は大きく変化することが予想され、那賀川流砂系の問題解決に向けて関係機関がより一層の連携強化を図る必要が生じている。そこで、那賀川総合土砂管理計画の策定及び総合土砂管理の実現に向けたモニタリングの実施を目的として、那賀川流砂系の関係機関から構成する「那賀川総合土砂管理検討協議会」を設置するものである。

主な意見等

- 下流の事業者にとっては、安定的な水量の確保は操業のための必須条件である。濁水が高い時には操業を止めなければならないため、選択取水設備に期待している。(王子製紙)
- 渇水・水不足に悩まされている。少しでもダムの堆砂除去をお願いし、バケツ1杯の水でも確保したい。(那賀川南岸土地改良区)
- 総合土砂管理の計画策定にあたり、技術的な課題が多くあるため、技術会議については委員の選定を進めたい。(那賀川河川事務所長)



【会長】

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所長

【会員】

国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川調査官
農林水産省 林野庁 四国森林管理局

徳島森林管理署 地域林政調整官

徳島県 農林水産部 水産振興課長

徳島県 農林水産部 農林水産基盤整備局 農業基盤課長

徳島県 農林水産部 農林水産基盤整備局 森林整備課長

徳島県 県土整備部 河川整備課長

徳島県 県土整備部 砂防防災課長

徳島県 県土整備部 運輸戦略局 運輸政策課長

徳島県 企業局 工務課長

阿南市 副市長

那賀町 副町長

四国電力株式会社 電力輸送本部 水力部

土木グループリーダー

四国電力株式会社 徳島支店 電力部 土木建築課長